

よくわかる解答♪



第2回
高校英語
実践模試♪

個性を引き出す
長所占いはこちら♪



1 15

例) オラウータンは猿系で、もふもふの赤茶色の毛でおおわれていてもたもた歩く。(36語)

そもそも字数制限がきつすぎるので、オラウータン、猿系、でかい、もたもた歩く、ほぼ直立できる、ボルネイらへんに生息、などから複数入ってればおけ。

2 (A) 各2 (8)

(1)	①	In spite of か despite か。デスパイトブ (despite of) はない。デスパイトは直火焼き。
(2)	②	Where を使ってるから、それを会場としてなんかしてないとおかしい。行き先としてるから which とかにする。
(3)	①	Anybody, anyone など ~body , ~one 系は単数!なので has
(4)	②	During のなかに普通の文がきたらまずい。単発名詞ぐらいにしとかんとな~。While ならおけ。

2 (B) 各3 (12)

(1)	(He is) the last person to betray others.	~する最後の人 →やらなさそうな人。彼は人を裏切りそうにない人だ!
(2)	(Tom can speak French,) to say nothing of English.	To say nothing of で~は言うまでもなく。 トムは英語はもちろんフレンチも話せます。

(3)	(It is) quite natural for Japanese people to make mistakes (in English)	ひじょ～にありがち。 ミスるのは至極当然のことです。
(4)	(I'm) looking forward to seeing you again.	ま～ありがちな文。To のあとは珍しく名詞。 会うの楽しみにしてます～。

2 (C) 各4 (8)

(1)	ユーシユドゥブ トールドみ～	Should have はシュドゥブ。もしくはシュダブ、シュッドアブラへんで。トーが感情の入れどころ。
(2)	ワイ ディドゥンチュー アスクミー?	ディドゥンチューあたりをくっつけたい。アが感情の入れどころ。アスキーでもおけ。

3 各7 (21)

<p>(1)</p>	<p>同じおっさんでも人生での時期が違くと違った嗜好を見せる。(それぐらい嗜好はころころかわる貴重なもんだ。)</p> <p>(ポイント) 直訳してもあほっぽい文になるだけなので、ざっくり方向があつてればおけ</p>
<p>(2)</p>	<p>よい執筆の嗜好もこのルールの適用外ではない。</p> <p>(ポイント) 執筆においてもいいもんてのは決まってるわけじゃなくころころ変わるもんだ、っていう方向にいつてればおけ。</p>
<p>(3)</p>	<p>作家はベストな文学作品を読む必要あり。しかもちょいかじるっていうんじゃないくて、(うまく選ばれた言葉による) 美しさを感じるために</p> <p>(ポイント) 作家は言葉選びのためにいい作品読まなあかんって方向でおけ。</p>
<p>訳</p>	<p>嗜好は万人のギフト。(なんじゃそら) 時代とか国とかでいろいろな好みが見られる。でも人の顔とか性格とかぐらいに違つとる。同じやつでも年齢によって違つたりする！同じおっさんでも人生での時期が違くと違った嗜好を見せる。(それぐらい嗜好はころころかわる貴重なもんだ。)</p> <p>嗜好のこれらの多様性は、容易に変わっていくものであるということを示唆しとる。(向上のための影響の受けやすさとか訳してもしゃ～ないんで意識)。よい執筆の嗜好もこのルールの適用外ではない。才能として持つてるいくらかのベースはいるにしても、それらが注意深くトレーニングしないとイケないことの埋め合わせになることはない。(才能あつてもがんばれよ的な)</p> <p>自分の嗜好に安定や洗練を加えるために、作家はベストな文学作品を読む必要あり。しかもちょいかじるっていうんじゃないくて、うまく選ばれた言葉による美しさ、整合性、魅力、力強さ、繊細さを感じるために読む必要あり！</p>

4 25

例) One day a boy and his younger sister lived in an apartment. They both study well and the boy wanted to be a doctor in the future. Also, his younger sister wanted to be a nurse. So, their dream is working together in the same hospital.

(46語)

スペルミスは-1 軽い文法ミスも-1

クソ書きにくい題材だが、実際の入試でもこんな事態になることはよくある。なので、問題文を読んで、ルール(説明しろ、具体例入れろ、とか)を確認したら、**ひたすらに書きやすい方向に持っていく**。あとは適当に見繕って終わらす。なんでもおけ。なんでもおっけ~なのに何も思いつかない、っていう子が多いので、普段から適当に話を作る癖をつけておきたいところ。

5 31

(1)	エ (3)	家に帰って初めて、やらかしたことに気づいた。ボストンは当時でかくない。ファーザーは働いてないかどうかはわからん。ミーン(意地悪)かどうかは書いてない。
(2)	ア (3)	イは、書かれてない。ウは話になってない。エは簡単ではない。hardly ハメに注意。
(3)	ウ (3)	ハーフダズン買えたてところから6ペニぐらいあったとわかる。ドルではないシダイム(10セント)でもない。
(4)	エ (3)	Kindly がヒント。
(5)	おやおや~ (5)	こいつやらかしたな~ あほやな~ 的な雰囲気のおやおや~。
(6)	アメリカが独立するのをおもっきり助けた。 He greatly helped to make America independent. (7)	功績を書いたらおけ。thinker, doer らへんでもおけ。
(7)	彼の人生は“ベンがわしを差別した~”とは誰にも言わせないようなものでした。 He was fair to anyone. (7)	Ever とかで強調されてるんで強めに。誰も、“不当な扱いをされた”と言えないような人生→誰にでも公平。

訳	<p>200年前ボストンにベンジャミンフランクリンという、ちまい少年がいた。マザーからちょい金もらった。このかっぱでどうすんの？てマザーに聞いたら、なんか買ってええよ、とマザー。じゃあもっとくれる？ あかん。それ以上はやれん。だから気~つけて使いや~。ボストンはそんなとき小さい町。</p> <p>何買おかな~。キャンディ？かわいいおもちゃ？ 彼は14人上、下に2人兄妹がいた。もちろんおもちゃどころではない。でそんな遠くに行ってないときに笛野郎（ちょいでか）に会った。それほしい！金くれるんなら笛やるで~。金もっとる~、笛くれるんならこれあげる~。全部くれるの？ うん全部。お~それでいこ！と笛野郎。</p> <p>ベン少年はハッピーだった。たった7歳だったので。笛吹きながらめっちゃいそいで帰った。マザーみてみて！笛買った！いくら払ったん？ くれた金全部。お~~べんじゃみん！ 兄の一人が見せてみて言うてきた。おやおや(*^m^*) お前これにそんな高い金払ったんか。これ1ペニやぞ。しかも小汚いし。ベンは6個は買ったな~とマザー。</p> <p>ベン少年はやらかしてたことに気がついた。笛はもううれしくなかった。投げて泣いた。</p> <p>気にせんでええよ~とマザーがやさしく言った。ちまいしな。これからもっとでかくなっていくときにいろんなこと学ぶから！今日の教訓は、しょーもない笛に金を払い過ぎんなってことやな！ベンジャミンはかなりじじいまで生きてたが、この教訓を忘れることはなかった。</p> <p>みんなベンジャミンフランクリンを知ってる。彼はグレートな思想家で実行者でワシントンとともに独立すんのにめっちゃ貢献した。彼の人生は、“ベンジャミンがわしを差別した！”とは誰も決して言えないような誠実なものだった。</p>
---	--

参考資料) ファイナルステップ 英文法 いいずな書店
英文法レベル別問題集 3,4 安河内 哲也 (著) ←おすすめ
http://www.gutenberg.org/wiki/Main_Page